

第41回三蔵祭 第2回日本語・英語プレゼンテーションコンテスト2015 報告

日 時： 平成27年10月18日（日）午後1時から4時まで

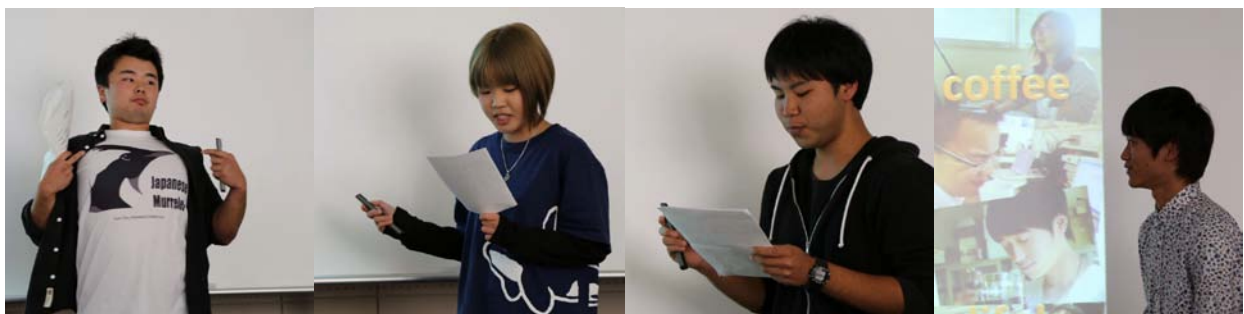
場 所： LL 教室 1 GLLASS

世話人： 米崎 里（人間文化学部）

平成27年10月18日〔日〕の午後1時から、日本語・英語プレゼンテーションコンテスト2015が開催されました。今年は会場を01101大講義室からLL教室1 GLLASSに移しましたので、大盛況に見えます。今年の世話人は人間文化学部の米崎先生、審査委員長は同じく人間文化の重迫先生、審査委員は大教センターのJason Lowes先生他です。プレゼンテーションの前に、今夏カリフォルニア大学リバーサイド校（UCR）の夏期集中英語研修に参加した経済学部の二上君がUCRの報告をしました。



今年は日本語の部に5組のエントリー（2名欠席）、英語の部に18組（19人）のエントリー（1名欠席、1名飛び入り参加）がありました。



審査は audience のみなさんの投票により決まります。投票の結果、日本語の部の優勝は人間文化学部の陳さんが、英語の部は同じく人間文化学部の三宅さんが最優秀賞に輝きました。おめでとうございます。

最後に英語科の Jason Lewes 先生に日本語と英語で講評を頂きました。英語の講評では、「これまでたくさんのスピーチコンテストの指導や審査をしてきたが、こんなに楽しんだことはこれまでになかった。本当に、笑って、笑って、笑った。英語にはたくさんの間違いがあったが、みなさんの聴衆とコミュニケーションしようという気持ちがよく伝わって来て、話している内容に共感できた。正しい英語を話すことは大切だが、それは単に文法に過ぎなくて、コミュニケーションが一番大切だ。ただスライドにはいくつかスペルミスがあった。どこか他でこの様なプレゼンをする時には、誰かに確認してもらって下さい。5分でチェックできます。」との事でした。

あとで Lowes 先生と話したら、「本当にビックリした！」との事でした。何がそんなにビックリなのか？



Jason 先生が驚き、笑って、笑って、笑ったプレゼンとは、間違いなく海洋の岩本君でしょう。彼のプレゼンタイトルは” Proposal” でした。プレゼン前は、「海洋環境を守れ、私の提案！」みたいな話かと思ったら、全く違いました。要するに、” プロポーズ” の話です。

彼は自分のことを紹介すると言って、まず彼女がほしいと言い出しました。どんな彼女がタイプかという高望みリストを示し、こんな子がいたらぜひ紹介してほしいと。ここまではよくある話です。問題はここから。将来結婚するとして、プロポーズを成功させるにはどうすればいいか！という話を、大まじめに propose しました。例えば、ロマンチックな場所に行くとか、リングを買うためにお金を貯めるとか、月並みでない気の利いたプロポーズの言葉を言うために、図書館に行って vocabulary を増やすとか。

最後に聴衆の女子学生に手伝ってもらい、シチュエーションの実演までしました。写真はシンデレラ城の前のシチュエーションで、飴の付いた指輪のおもちゃを手渡してプロポーズしているところです。ほんま、ようやるわ！ 参りました。泣けました。

PS 彼からキャンディーリングをもらった S さんは、彼の次のプレゼンターで、すっかりペースを壊されて気の毒でした。

